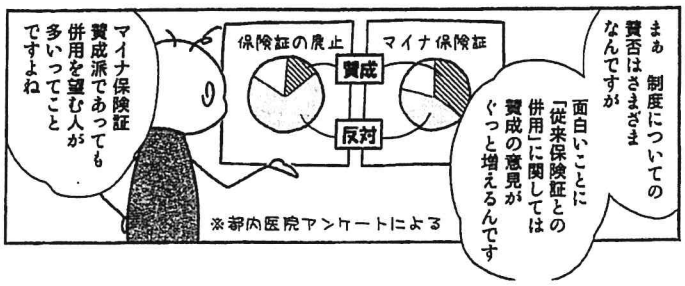

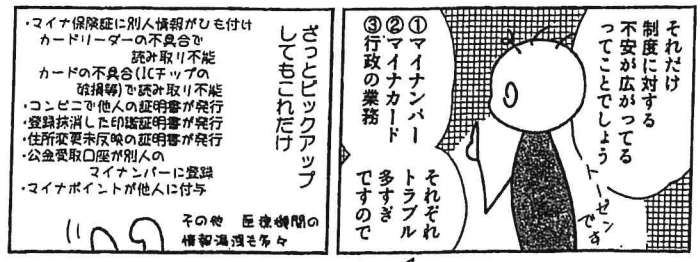

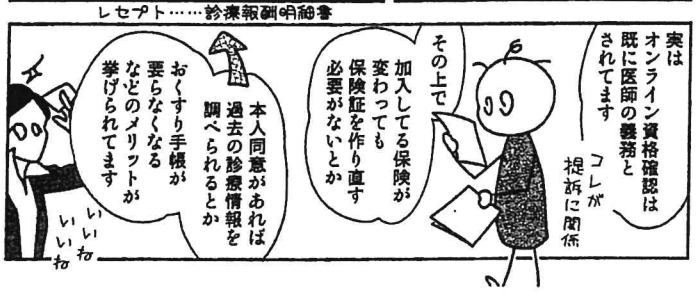

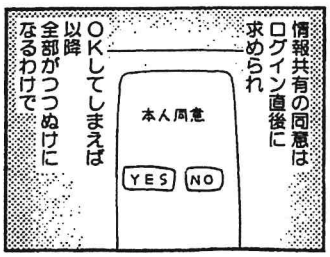

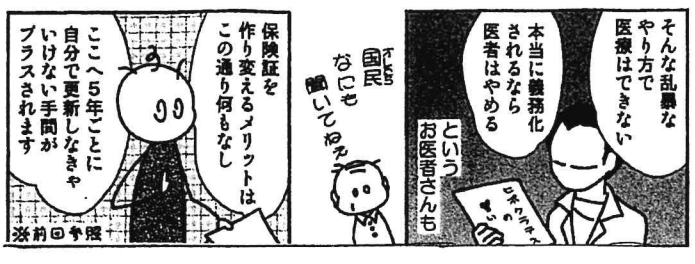

マイナ保険証 一本化の危険性

政府が打ち出した「マイナンバーカード」の取得は、任意です。しかし、取得率が政府の思うように伸びず２２年度末は、６７%。９月３０日時点でも７２．５%です。マイナポイントとして２兆円もの税金を注ぎ込んだことで、カード保有率は大きく伸びましたが、「マイナ保険証」には依然として不安の声が大半を占め、医療機関からも強引な進め方に悲鳴が上がっています。

そもそもマイナカードのメリット・デメリットをろくに説明もせず、ごまかしながら力づくで使わせようとする手法に、国民は不審を抱いています。

政府は、マイナンバーカードを「デジタル社会のパスポート」とあおりたて、そのカードなしには生活できない社会を作ろうとしています。個人の属性と動向を把握可能にする社会を作らせないために、「一本化」を阻止して行きましょう！